あさみどりの会　令和７(2025)年度事業報告

近年、社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や多様化する生活課題などにより、複雑化・高度化が進んでいる。そのような中、あらためて法人の理念『心身に障がいのある人とのかかわりを通して、ボランティアの心を育み、すべての人々が共に良い人生を送れる社会づくりをおこなう』は、福祉活動の根幹として重要な意義を持つとともに、理念の実現は、地域社会の包摂性を高め、共生社会の形成に寄与するものと考えられる。

理念の実現に向けては、障がい者と地域住民が日常的に交流できる場の創出が不可欠であるが、令和７年度の各事業所のボランティアの受け入れに関して、ようやくコロナ禍前の水準に戻り、法人全体で年間１１６８名の受け入れを行った。特にれいんぼうワークスに関しては、農福連携の取り組みを通した地域住民及び地域の学校等とのつながりから、全体の９割にあたる延９６３人のボランティアの受け入れを行っている。また、地域イベントやワークショップを定期的に開催し、障がい者とボランティア及び地域住民が協働できる機会を増やすという観点では、べにしだの家のアート活動やあらくさの地域の子ども向けのパン教室、さわらび園の手形足形アートの取り組みなど、各事業所の地域活動の定着が図られた１年であった。

さらに、以前れいんぼうワークスが行事として実施した「オンライン豆まき」のように、今後はオンライン交流やデジタル技術の活用によって、地理的・時間的な制約を超えた新しい形のボランティア活動や地域連携の可能性も検討していく必要がある。これにより、より多くの人々が福祉活動へ参加しやすくなり、共生社会の実現への道がさらに広がることが期待される。

利用児者支援という点では、社会課題の複雑化への対応として、福祉サービスの多機能化と地域との連携体制の強化が求められる中、各成人事業所による「地域連携推進会議」の開催に加え、医療、福祉、療育、教育、就労支援、生活支援など、複合的なニーズを持つ利用児者に対して、関係機関及び地域の他事業所との協働によるワンストップ支援体制の構築を引き続き図っていった。

事業承継という中期的な課題に対しては、各階層別の職員研修の実施とともに、キャリアパス設計に基づく新たな「職務評価」の実施を行った。その具体的な成果はまだ数年後を待つことになると思われるが、９月に行われたあさみどりグループの職員全体研修における実践研究発表では、エビデンスに基づいた支援経過と成果が示され、各事業所が療育実践を内外に発信する基盤が出来つつあることを感じさせてくれた。

また、職員の人材育成や働きやすい環境整備にも力を入れ、組織全体の持続的な成長を目指す必要がある。今後は多様な人材の活躍や専門性の向上を図ることで、より質の高い福祉サービスの提供につなげていく方針である。

あさみどりの会は今後も法人理念に基づいた活動を通じて、地域共生社会の実現や複雑化する社会課題への対応に取り組んでいくことになるが、加えて事業承継やブランド力向上、高齢化への体制整備など、具体的な施策を積極的に導入し、地域社会と共に発展することが期待される。

１　組織強化

（１）理事会

①開催日時　令和７(2025)年５月２０日（火）　午後６時００分から７時３０分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席理事　後藤秀爾　追分伸夫　山本智恵　島田修三　島崎徹也
出席監事　渡邊　勝　北村榮章
欠席理事　菅沢　豊　　出席施設長等　田中雅樹　鷲見まち子　秋吉美果　仲畑芳紀
オブザーバー　村上正城（顧問税理士）
決議事項　第１号議案　令和６(2024)年度　事業報告について
第２号議案　令和６(2024)年度　決算について
第３号議案　諸規定の改定について
第４号議案　評議員会の開催について
第５号議案　評議員選任解任委員選任及び委員会の開催について
第６号議案　改選に伴う理事評議員候補について
第７号議案　定款変更について

報告事項（理事長専決項等の業務執行報告）
報告第１号　その他
②開催日時　令和７(2025)年６月６日（金）　午後６時００分から６時３０分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席理事　後藤秀爾　追分伸夫　山本智恵　島田修三　菅沢　豊　島崎徹也
堀美和子　熊谷かの子
出席監事　北村榮章　小村福生
決議事項　第１号議案　理事長の選定について
第２号議案　副理事長の選定について
第３号議案　専務理事（業務執行理事）の選定について
第４号議案　諸規程の改定について
報告事項　（理事長専決項等の業務執行報告）
報告第１号　法人役職員配置について
③開催日時　令和７(2025)年１１月１８日（火）　午後６時００分から７時１５分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席理事　後藤秀爾　追分伸夫　山本智恵　菅沢　豊　島崎徹也　堀美和子　熊谷かの子
出席監事　北村榮章　小村福生　欠席理事　島田修三　　出席施設長　鷲見まち子　田中雅樹
決議事項　第１号議案　令和７年度予算一部補正について
第２号議案　諸規程の改定について
第３号議案　評議員会の開催について
報告事項（理事長専決項等の業務執行報告）
報告第１号　新池ホーム（仮称）建設計画について
報告第２号　べにしだの家介護対応浴室の設置について
報告第３号　キャリアアッププロジェクトの進捗と職務評価の実施時期について
報告第４号　懲罰委員会開催と当該職員の処分に関すること
報告第５号　その他
④開催日時　令和８(2026)年３月２３日（月）　午後６時００分から７時５０分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席理事　後藤秀爾　島田修三　追分伸夫　山本智恵　菅沢　豊　島崎徹也
堀美和子　熊谷かの子
出席監事　北村榮章　小村福生　　出席施設長等　田中雅樹　鷲見まち子　秋吉美果　仲畑芳紀
オブザーバー　村上正城顧問税理士　　事務局員　池田陽子
決議事項　第１号議案　令和７(2025)年度 予算の一部補正について
第２号議案　令和８(2026)年度 事業計画について
第３号議案　令和８(2026)年度 予算について
第４号議案　諸規程の改正について
第５号議案　施設長人事について
第６号議案　評議員会の開催について
第７号議案　役員等賠償責任保険の更新について
第８号議案　理事会資料のデータ配布について
報告事項　報告第１号　業務執行状況の報告について
報告第２号　来年度法人職員人事について
報告第３号　新池ホーム（仮称）建設に向けた進捗について
報告第４号　その他

（２）評議員会

①開催日時　令和７(2025)年６月５日（木）　午後６時００分から７時１５分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席評議員　青山達雄　森　弘典　坪内勝彦　野々山郁　渡邊幸良　江部眞弓　鵜飼信孝
堀美和子　久野格彦
出席監事　　北村榮章　　出席理事　追分伸夫　山本智恵　島崎徹也
出席施設長等　田中雅樹　鷲見まち子　秋吉美果
決議事項　第１号議案　令和６(2024)年度 決算について（監事監査含む）

第２号議案　理事監事の選任について
第３号議案　定款変更について
報告事項　報告第１号　令和６(2024)年度 事業報告について
報告第２号　諸規程の改定について
報告第３号　評議員選任解任委員会の開催について
報告第４号　その他
②開催日時　令和７(2025)年１１月２７日（木）午後６時００分から７時１５分
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席評議員　鵜飼信孝　青山達雄　野々山郁　江部眞弓　渡邊幸良　小川一美
東出せつ子　久野格彦　　欠席評議員　森　弘典
出席監事　　北村榮章　　出席理事　追分伸夫　山本智恵　島崎徹也
決議事項　第１号議案　令和７(2025)年度予算一部補正について
報告事項（理事長専決事項等の業務執行報告含む）
報告第１号　諸規程の改定について
報告第２号　新池ホーム（仮称）建設計画について
報告第３号　べにしだの家介護対応浴室の設置について
報告第４号　キャリアアッププロジェクトの進捗と職務評価の実施時期について
報告第５号　懲罰委員会開催と当該職員の処分に関すること
報告第６号　その他
③開催日時　令和８(2026)年３月３０日（月）　午後６時００分から７時３０分まで
開催場所　さわらび園３階カウンセリングルーム
出席評議員　鵜飼信孝　青山達雄　野々山郁　江部眞弓　渡邊幸良　森　弘典
小川一美　東出せつ子　　欠席評議員　久野格彦
出席監事　　北村榮章　　出席理事　追分伸夫　山本智恵　　事務局員　池田陽子
決議事項　第１号議案　令和７(2025)年度予算の一部補正について
第２号議案　令和８(2026)年度　事業計画について
第３号議案　令和８(2026)年度　予算について
報告事項　報告第１号　諸規程の改定について
報告第２号　来年度職員体制と施設長人事について
報告第３号　役員等賠償責任保険の更新について
報告第４号　業務執行状況の報告について
報告第５号　新池ホーム（仮称）建設に向けた進捗について

（３）施設長会＜全２４回開催＞
あさみどりの風との合同：４月１７日、６月１３日、８月２７日、１０月１７日　１２月８日
１月２７日、３月２５日（計７回）
会のみ：４月３日、４月３０日、５月２０日、６月５日、７月１５日、７月３１日、
８月２１日、９月１６日、１０月３日、１０月１７日、１１月１１日、１月９日、１月１９日
２月１８日、２月２４日、３月１７日（計１７回）

（４）施設長主任会：年１回開催／管理者系研修＜あさみどりの風との合同＞（６月２６日）

（５）事務担当者会：年１回開催／事務職員研修（９月２２日）

（６）委員会
①療育研究活動委員会：年５回開催（５月１日／９月８日／９月３０日／１１月４日／３月２６日）
②ブランドデザイン委員会：年３回開催（５月２６日／１０月２０日／１１月１８日）
③虐待防止拡大委員会：年２回開催（７月１７日／１月２２日）

（７）連絡会議
①Vo 担当者連絡会議：年３回開催（４月２３日／８月２８日／１月１４日）
②CA 連絡会議：年３回開催（６月１７日／１０月２８日／１月２０日）
③GH 連絡会議：年５回開催（４月１７日／８月８日／１１月１３日／２月１２日／３月１２日）

（９）プロジェクト会議
キャリアアップ会議：年５回開催（４月２９日／５月２２日／６月１２日／７月７日／１０月６日）

２　事業

（１）社会福祉事業（各事業所報告参照…Ｐ９～）

（２）公益を目的とする事業

ア）療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

①療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	2	7	4	7	1	5	4	5	7	8	9	21	80
べにしだの家	3	0	2	0	3	4	0	2	1	1	3	3	22
れいんぼうワークス	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	1	1	7
あらくさ	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	2	9
計	5	7	7	11	10	9	4	7	9	9	13	27	118

①-2 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
６歳未満	2	7	4	7	1	5	4	5	7	8	9	21	80
６歳以上	3	0	3	4	9	4	0	2	2	1	4	6	38
計	5	7	7	11	10	9	4	7	9	9	13	27	118

②在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	7	20	13	12	15	8	20	14	10	7	27	11	164
対象人数	91	333	190	162	455	221	1206	184	306	17	510	69	3744
援助者数	44	114	49	85	103	33	135	98	83	26	107	29	906

【療育グループ活動状況（９団体）】

グループ名	主　な　活　動	代表者
同朋大学心身障害福祉研究会	あさみどりの会等における療育援助活動	大谷優稀
同朋大学 ACTION	あさみどりの会等における療育援助活動	山本凉子
新池子どもクラブボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	久保田宏樹
南山大学ボランティアサークル	愛知県赤十字血液センター献血活動・あさみどりの会等における療育援助活動他	中村仁美
椙山女学園大学うぇるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	服部吏桜
LiVE YOU	手作りバリアフリーライブイベントの企画、開催	仲畑芳紀
なないろコンサート実行委員会	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	丹下　靖
ボランティアスクール企画委員会	ボランティアスクール（全５講）の企画、開催	中川千雅
ジャイアントステップス	利用者主体の余暇及び社会参加活動の支援	中野則恵

③療育グループ

③-1　学童療育グループ　（しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	7	10	11	7	5	10	10	9	6	6	7	4	92
参加人数	62	58	71	34	18	80	53	59	36	51	46	40	608
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③-2　乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	5	6	6	5	0	6	7	6	4	5	5	3	58
参加人数	47	58	60	38	0	54	56	33	27	27	34	29	463
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④母親研修会(心身障害についての基礎学習)

月日		テーマ	講　師（敬称略）	参加人数
4	25	未来を育む時間 ～幼児期の大切さとお母さんのかかわり～	愛知県知的障害者福祉協会 副会長 社会福祉法人あさみどりの風 理事長 熊谷かの子	17
5	20	こどもの発達を知る ～かかわりの中で育まれる力～	日本福祉大学心理学部　准教授 堀　美和子	19
6	27	豊かなコミュニケーションとあそび ～おうちでのかかわりのヒント～	にじいろ訪問看護リハステーション　言語聴覚士 加藤沙哉佳	16
7	8	わが子と歩んできた日々の中で ～体験発表～	さわらび園卒園児のお母さん	15
9	16	絵本のたのしみ ～自分を豊かにして人とつながる～	社会福祉法人あさみどりの会理事長 後藤　秀爾	17
10	28	こどもの発達特性の理解を深める	名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋 江副　慶子	16
11	21	「身体づくり」の意味を考えてみよう！ ～運動機能の向上と発達との関係を考える～	東部地域療育センターぽけっと 相談診療部長・理学療法士　松澤裕美子 理学療法士　袁　麗清	14
12	11	特別支援教育の「今」 ～就学に向けて親ができること～	守山特別支援学校　センター的機能サポート事業担当 村上　慶介 特別支援教育コーディネーター・主幹教諭 中沼　暁	19
1	17	大人になったわたしたち ～しごと、たのしみ、かぞく…を語る～	さわらび園卒園児の社会人の皆さん 社会福祉法人あさみどりの会　放課後クラブコーディネーター 中野　則恵	15
2	13	こどもは皆、おとなになる ～幼児期から成人期への歩みを見つめて～	社会福祉法人あさみどりの会　副理事長 島崎　徹也	12

イ）ボランティア育成事業

社会人及び学生を対象に、福祉に対する啓発と参加を意図した基礎的、専門的学習の機会を設け、ボランティア実践への方向づけを行うとともに、すでに実践活動に入っているサークル及び個人への支援を行った。

①ボランティア・スクール

（年１回、主催：ボランティアスクール企画委員会・あさみどりの会／後援：４団体）

第８１回（５講座　受講者数１０４名）

月日		テ　ー　マ	講　師（敬称略）	参加人数
10	22	知らないと“加害者”になる⁉ ～ハラスメントの基礎知識～	NPOアカデミック・ハラスメントをなくすネットワークNAAH理事 加藤千賀子	20
10	29	共に創る幸せな未来 ～君のためにできること～	NPO法人「陽和」理事長 渋谷　幸晴	22
11	5	「今日より明日が少しだけ楽になる」って本当？ ～不登校のリアルを見つめて～	天白こころとからだのケアセンタ　所長 臨床心理士・愛知学院大学非常勤講師 掛井　一徳	16
11	12	自分の強み発掘 ～ポジティブな心の心理学～	椙山女学園大学准教授 川島　一晃	22
11	22	心の架け橋 ～手と手のつながりから開く扉～	社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会 聴覚言語障害者情報センター 木一由佳子	24

②ボランティアグループの育成（サークル助成金）

月日		助成団体	活動回数	助成金額
4	随時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椙山女学園大学うぇるかむ なないろコンサート実行委員会 ジャイアントステップス 同朋大学 ACTION	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000 円
前期				
10	随時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椙山女学園大学うぇるかむ なないろコンサート実行委員会 ボランティアスクール企画委員会 ジャイアントステップス 同朋大学 ACTION	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000 円 ※ボランティアスクール企画委員会は 30,000 円
後期				

③なないろコンサート

日　時：１２月６日（土）14:00～16:30　＜Vo 含む全参加者数：７９名＞

会　場：もえの丘（北名古屋市総合福祉センター）

出演者：なないろバンド、すぱっつ

④あさみどりボランティアサークル連絡協議会

月日		会議内容	出席者	参加人数
4	26	・あさみどりの会のボランティアについて ・ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 ・法人各事業所年間行事予定の案内 ・ボランティアスクールの案内 ・情報交換	ボランティアサークル 団体１３名 個人ボランティア　１名 法人職員　６名	20

⑤ボランティア受入状況（行事参加等も含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	2	1	39	29	4	20	4	3	1	33	5	141
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	0	0	12
あらくさ	6	3	4	3	8	3	3	4	4	4	5	5	52
れいんぼうワークス	104	363	40	108	2	5	10	320	10	0	0	1	963
計	110	368	45	150	39	12	42	331	17	5	38	11	1168

⑥学校実習・体験実習（障がいのある方等の受入れは除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	3	7	49	27	24	42	23	4	51	0	30	0	260
べにしだの家	3	1	45	23	40	64	74	10	19	0	10	20	309
あらくさ	0	0	0	0	0	39	16	4	5	20	10	0	94
れいんぼうワークス	0	0	0	0	0	61	3	55	0	0	0	0	119
計	6	11	55	30	28	148	48	68	58	20	41	2	515

ウ）地域啓発事業

オンラインも駆使しながら福祉活動への参加や研修、学習の機会を提供し、コミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

①機関誌『療育援助』の発行(月１回) □発行回数 12 回　□発行部数　毎回 1,000 部（1 月より 800 部）

配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	204	201	198	198	合併号→	197	196	194	192	192	191	191	2154
ﾒｰﾙ配信	207	210	213	213		214	215	217	219	219	220	220	2367
手渡数	589	589	589	589		589	589	589	589	389	389	389	5879

②第６２回心身障害問題を考える集い

月日		テ　ー　マ	講　師（敬称略）	参加人数
7	5	＜全体テーマ＞ ひとり一人を取り残さない地域社会づくりに向けて ＜講演テーマ＞ 被災地再建までのしぶとい支援	＜講演＞ 講師：江﨑　太郎（特定非営利法人 YNF 代表理事） ＜対談＞ 講師：江﨑　太郎 北岡さとみ（社会福祉法人 拓く 統括本部長）	43

③第１８回フォーラムあさみどり

月日		テ　ー　マ	講　師（敬称略）	参加人数
6	7	＜講演テーマ＞ 意思決定支援が紡ぐ障がい者福祉の未来 ＜鼎談テーマ＞ 自己決定を支える家族と支援者のあり様を考える	＜講演＞ 講師：鈴木　敏彦 （淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授） ＜鼎談＞ 講師：鈴木　敏彦 江部　眞弓（NPO 法人「花＊花」代表理事） 仲畑　芳紀（あさみどりの会べにしだの家所長補佐）	91

④ れいんぼう祭　（　６月２１日　参加人数：104 名/Vo 含全参加者数）

⑤ しんいけ盆おどり（　７月２６日　参加人数：39 名/Vo 参加）

⑥ さわらび運動会　（１０月１２日　参加人数：19 名/Vo 参加）

⑦ べにフェス　（１０月１８日　参加人数：118 名/Vo 含全参加者数）

⑧ さわらび祭　（　２月１１日　参加人数：28 名/Vo 参加）

⑨しんいけ子どもクラブ

月日		テ　ー　マ	参加人数	ボラ参加数
5	18	名札作り・散策	19	7
7	19～21	サマーキャンプ	21	4
9	28	レクリエーション（新聞紙ドーム作り）	16	5
12	21	クリスマス会	20	4

⑩施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園	新池北部町内会	3
べにしだの家	鴨付町内会、剣町内会、なないろコンサート実行委員会	8
あらくさ／れいんぼうワークス	なし	0

⑪LiVE YOU（年間２回／参加ボランティア：21 名）

月日		テ　ー　マ	参加人数	ボラ参加数【出演者含む】
5	31	音楽・アート・マルシェなどが楽しめるライブイベント①	150	10
11	29	音楽・アート・マルシェなどが楽しめるライブイベント②	140	11

⑫事業所見学会（障がいのある方の生活を支える支援者養成講座）

月	日	テーマ	場　所	参加人数
1	29、30、31	グループホームの仕事・見学説明会	れいんぼうワークス	9
		＊べにしだの家、あらくさ未実施		

エ）野外活動事業（詳細は事業所報告参照）

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。

新池子どもクラブ・サマーキャンプ（７月）／療育グループ親子療育キャンプ（８月）
さわらび園親子療育キャンプ（８月）／あらくさ作業室山の家合宿（５月、６月）
れいんぼうワークス山の家合宿／学童合宿（９月）

オ）家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。６月７日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年２回（うち１回は成人施設合同）実施した。

（３）職員研修

①法人全体研修

ア）　４月　５日(土)＜会場：さわらび＞
　　内容：　あさみどりの会の理念について、権利擁護

イ）１０月　４日(土)＜会場：さわらび＞あさみどりグループ職員研修
　　内容：実践研究発表（れいんぼうワークス、さわらび園）

②階層別研修

ア）新任職員研修（新規採用職員対象）
　　５月１７日(土)＜会場：れいんぼう＞　　４名参加
　　内容：プランター制作体験（雨天のため）、グループワーク

イ）初級職員研修（2～3 年目職員対象）
　　１１月２９日(土)＜会場：べにしだ＞　１３名参加
　　内容：「利用者（子ども）の可能性」、LiVEYOU マルシェ体験、グループワーク

ウ）中級職員研修Ⅰ（4～10 年目職員対象）
　　７月１２日(土)＜会場：さわらび＞　　１２名参加
　　内容：「良好な対人関係のためのコミュニケーション」講師：小川 一美氏

エ）中級職員研修Ⅱ（10 年以上職員対象）
　　１２月　２日(火)＜会場：べにしだ＞　　７名参加
　　内容：「身体と心をほぐしながら自分と対話する」　講師：後藤秀爾理事長

オ）ラウンドテーブル＜会場：さわらび＞（あさみどりの風との合同）
　　１０月１９日(土)／ １２月２５日(木)　９名参加
　　内容：次世代リーダー養成を目的とした研修。　講師：野澤和弘氏

③インシデント・プロセス研修　さわらび園にて年１０回開催
　　講師：山田敦朗氏（名古屋市立大学大学院医学研究科 教授）　参加対象人数：１４名

④宿泊型療育実地研修
　小中学生合宿　９月１３日（土）～１５日（月・祝）８名参加　場所：郡上山の家

⑤ホームスタッフ基礎研修
　５月２４日　場所：べにしだの家　参加者１０名　講師２名　スタッフ５名
　内容：ホームスタッフの仕事・障がい特性について・嚥下について・てんかん発作の対応

⑥発達障害対応研修　　講師：小林信篤氏（元横浜やまびこの里 障害福祉部長）
べにしだの家：６月２７日(金)１０名参加／１０月２５日(金)１０名参加／１月２３日(金)１２名参加
れいんぼうワークス：６月２８日(土)１９名参加／１０月２５日(土)２１名参加／１月２４日(土)２２名参加
あらくさ：６月２８日(土)１１名参加／１０月２４日(金)９名参加／１月２４日(土)１５名参加

⑦事務担当者研修（あさみどりの風との合同）
　９月２２日（月）＜れいんぼう＞　１８名参加　内容：労務研修　講師：加古 朗氏

⑧管理者系研修（あさみどりの風との合同）
　　６月２６日（木）＜風わらび＞　　２０名参加　内容：地域生活支援　講師：福井千佳仁氏
⑨ハラスメント研修　７月３１日（木）＜さわらび＞　　１５名参加　　講師：森 弘典氏
⑩各施設におけるその他の研修活動　各事業所報告等参照
⑪外部研修への参加　各事業所報告等参照
⑫社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励

（４）苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成１３年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要のあるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。令和７年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	べにしだ	れいんぼう	あらくさ
苦情処理票等により処理した件数		2	5	0	1
申出者	利用者本人	0	0	0	0
	利用者の家族	0	1	0	1
	近隣住民・その他	2	4	0	0
内容	利用者に対する職員の対応	0	0	0	1
	利用者に対するサービス向上	0	0	0	0
	利用者の生活環境の改善	0	0	0	0
	施設・事業運営に対する不満	0	3	0	0
	その他	2	2	0	0
方法	職員・施設長と解決策を協議	2	5	0	1
	要望どおり解決できないことを説明	0	0	0	0
結果	解決の方法・内容に納得した	2	5	0	1
	解決の方法・内容に不満がある	0	0	0	0
	処理結果を職員に周知する	2	5	0	1

苦情処理した件数は、さわらび園２件、べにしだの家５件、れいんぼうワークス０件、あらくさ１件であった。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

１．総括

【さわらび園】

１．児童発達支援事業

・定員３０名に対し、年度当初は２０名での開始となったが、年度途中より受け入れが増加し、最終的に計２９名の児童が在籍した。低年齢児の受け入れや就労世帯への配慮など、多様な家庭環境のニーズに対し柔軟な対応に努めた。

・非常勤看護師を増員し、園児の全登園日における看護師の配置体制を整えた。感染症に関する研修等を通じ、看護職と療育スタッフ間での情報共有および連携強化を進めた。

２．療育グループ事業（名古屋市事業）

・就園前グループの利用児が減少傾向にある中、少人数の利点を活かして保護者と密に子どもの状況を共有することに努めた。その中で、早期の段階から療育への移行につなげることができた。

・並行グループのプログラムを見直し、療育の最後に保護者の振り返りの時間をもつなど、保護者支援の充実を図った。

・卒園後の社会人サークルの活動において、本人の余暇支援に加え、法人内の祭等のイベントのボランティア参加を通じた社会参加を意識した取り組みを継続した。

３．保育所等訪問支援事業

・小学校への訪問支援のニーズの高まりを受け、学校および保護者との連携を強化し、個別のケースの状況に応じた対応を行い、学齢期における訪問支援の実践を重ねた。

４．障害児相談支援事業

・自立支援協議会の子ども部会の運営に参画し、事例検討会等の研修の機会を充実させるなど、地域における障害児支援の中核的な役割の遂行に注力した。

・学齢期の計画相談を地域の相談支援事業所へ円滑に引き継ぐため、保護者の意向確認および事業所間の橋渡しを丁寧に行い、地域における学齢児の受け入れ体制拡充を図った。

５．防災対策

・毎月の避難訓練の内容を多角化し、実施後の職員の振り返りを徹底することで、非常災害時を想定した危機管理体制を強化した。

・地域の防災訓練に園舎を開放するなど、地域との連携・協同関係を深める取り組みを行った。

【べにしだの家】

１．開設３０周年記念事業

・９月２０日、ルブラ王山にて１６６名参加の記念パーティーを開催した。２０周年時は立食形式だったが、介助が必要な方が増えたため全員着席形式に変更。この１０年の利用者の変化を実感する機会ともなった。

２．施設整備・環境改善

・１階クリーニング室の浴室・リラクゼーション空間への改修は、検討に時間を要し令和８年度へ先送りした。

・建物の老朽化対策及び利用者の重度化・高齢化に対応する環境整備はどちらも必須であり、中期的な計画のもとで着実に進めていきたい。

３．生活介護事業

・受託作業は減少傾向で、長年の主要取引先との契約が終了した。

・自立課題を中心に、身体機能維持に繋がる活動への重点化を意識した。

・アート活動は県内外のグループ展に招待されるなど認知が向上した。

・地域交流イベント「LiVE YOU」を地域・他事業所との連携を意識して開催した。

４．施設入所支援

・将来の住環境整備に向けた改修については継続的に検討中である。

・「高齢化に伴う将来の適切な居住環境整備」は法人全体の中長期課題として検討を重ね、利用者の安心・安全な住まいの確保を目指す。

・地域住民の意見を直接窺い理解と協力関係を深め、地域で支える仕組みづくりを目的とする「地域連携推進会議」を開催した（令和７年度義務化、共同生活援助は各ホームで開催）。

５．共同生活援助（グループホーム）

・利用者の身体状況変化に伴い、住環境・食事形態の見直しを行い、５月に引越しを実施した。

・５軒中４軒で３６５日開所体制を整備し、安定した支援提供が可能になった。
・新規利用者受け入れに向け、体験利用を開始した。

６．相談支援事業

・一昨年入職の相談支援専門員が独り立ちし、２名体制になった。
・契約利用者の内３名が持病悪化・老衰で他界、２名が介護保険へ移行し、新規契約は７名。年度末時点の契約者数は１４９名である。
・令和８年度から義務化の「地域移行推進」に向け、意思決定支援の研修を受講し、施設内で共有した。今後は入所支援利用者に限らず、全利用者を対象に意思決定支援会議を実施予定である。
・中村区自立支援協議会相談部会の協力事業所として運営に参画した。

【れいんぼうワークス】

１．事業の概況

・生活介護の農福連携を中心に地域とのつながりを深め、将来に向けた基盤整備を行った。

２．運営および人員体制

・利用状況
生活介護：６月より１名増、８月より１名減となった。３月に新たな利用者が加わり、年度末には１名増となった。共同生活援助：８月より１名減、１０月より１名減となったが、３月に１名増となった。
・人員配置
生活介護：人員配置基準を「１．５対１」とした。共同生活援助：世話人配置を「６：１」とし女性ホームに２名の夜勤者を配置するなど夜間支援体制を手厚くした。

３．施設管理

・施設整備・修繕：生活介護作業室の天井漏水に伴い、2 階厨房バルコニーの塗り替え工事を行った。火災通報装置の取替、貯水槽ポンプ交換のほか、グループホームでのトイレ水漏れ、エアコン故障など、想定外の修繕が多数発生したが、すべて対応した。虹の家Ｖの車いす対応トイレリフォームは、計画通りに実施した。

４．事業活動および行事実績

・余暇活動・外出支援：山の家旅行（６～７月）、京都方面へ公共交通機関を利用した一泊旅行（１０月）を３班に分けて実施。
・地域交流：近隣の小学校のすぐ側に新たに農地を借りることができ、小学校と授業の一環として農業イベントや出張授業を行い、交流を図ることができた。弥富市の学校給食 2 校にサツマイモを提供した。また、地域コミュニティの中の農家、消費者の繋がりによる参加型認証制度（PGS）にて三ツ星の認証を得たほか、援農イベントを２回開催し、地域消費者とのつながりを強化した。
・家族支援：家族会・学習会にて成年後見制度や将来に対する備えに関する学習会を開催
（外部講師：宮崎氏・合屋氏）

５．共同生活援助（グループホーム）

・支援体制：職員が複数のホームを巡回・コーディネートする体制を整えた。また、ホーム見学会を開催し、新規支援者の採用により安定的な体制を維持した。

６．法令遵守および外部監査対応

・愛知県監査（６月実施）：送迎支援加算の過誤につき指摘を受け、返戻の手続きを行った。

【あらくさ】

１．事業の概況（主に生活介護）

生活介護事業所として運営 2 年目を迎え、利用者の増加に伴う人員配置の拡充や、安定的な運営体制の維持に努めた。また、感染症対策の徹底や監査対応を通じて、事業運営の基盤強化を図った。

２．運営および人員体制

・利用状況：定員２０名に対し、４月より１名増員し計１６名で運営。
・人員配置：有期契約職員の増員により、６月以降の人員配置基準を「１．５対１」へ拡充し質の高い支援体制を構築した。

３．感染症対策および施設管理

・感染症対応：４月にホームおよび作業室にてノロウイルスによる集団感染が発生。保健所の指導に基づき、パン店の 1 週間休業および徹底した消毒（ノロウイルス対応薬剤の使用等）を実施した。以後、年度内において感染症の再拡大は発生していない。

・施設修繕：５月に作業室および神田ホームの排水管清掃を実施し、衛生環境の維持に努めた。

４．事業活動および行事実績

・余暇活動・外出支援：山の家旅行（５～６月）、静岡方面への一泊旅行（１１月／グループ別実施）、いちご狩り外出などを実施。

・季節行事：夏祭り、クリスマス会を開催。２月にはレストランを貸し切り「成人を祝う会」を実施した。

・地域交流：地域の子ども向けパン教室を１月・２月に開催し、地域との交流を図った。

・家族支援：自立の会にて「成年後見制度」に関する講演会を開催（外部講師：尾関氏）。

５．共同生活援助（グループホーム）

・体制維持：新規支援者の採用により安定的な体制を維持した。

・今後の課題：新ホーム開設に向けた支援者の確保、および育成が引き続き重要課題である。

６．法令遵守および外部監査対応

・名古屋市一般監査（２月実施）：経理および支援内容全般について適正との評価を得た。

・改善対応：指摘事項である「個人情報保護方針の公表」および「賃金の口座振込に関する協定締結」については、法人と連携し速やかに対応を進めることができた。

２．さわらび園の事業状況

（１）障害児通所支援事業

１）児童発達支援事業（園児）

①利用状況

○年齢・男女別（年度途中の退園・入園を含む）

学年齢		１才	２才	３才	４才	５才	小計	総計
市	男	2	5	6	6	4	23	29
	女		3		2	1	6	
計		2	8	6	8	5	29	29

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	20	20	21	23	23	23	24	24	25	26	28	28	
日数	18	20	20	21	18	18	19	17	18	19	20	18	226
人数	285	337	348	333	211	332	383	326	389	400	375	362	4081

○主な障害　　＜ＡＳＤ＝自閉スペクトラム症＞

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	18	3	21
ASD	2		2
ADHD	2		2
知的障害	1	3	4
計	23	6	29

○通園区域別

名古屋市					
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	14	名東区	12	守山区	3

○療育手帳所持状況

	1 度	2 度	3 度	4 度	未所持
人数		2	7	14	6

○発達状況（新版 K 式発達検査結果より）

DQ	20 以下	21～35	36～50	51～74	75 以上	不明
人数		5	4	13	4	3

②令和７年度新入園児状況＜途中入園も含む＞

○年齢・男女別

学年齢		１才	２才	３才	４才	５才	小計	総計
市	男	2	4	3		1	10	15
	女		3		1	1	5	
計		2	7	3	1	2	15	15

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	8	3	11
ADHD	2		2
知的障害		2	2
計	10	5	15

③令和７年度卒退園児状況（進路先・男女別）

進路先		特別支援学級	保育園	幼稚園	児童発達支援センター	計
市	男	4	2	2	1	9
	女	1			2	3
計		5	2	5	3	12

④主な実施行事

４月	５月	６月
3 日　入園式	2 日　子どもの日行事 12 日　新入園児歓迎会 16 日　春の遠足	24 日　健康診断 21 日　父親参観日（ぞう・パンダ G） 28 日　父親参観日（きりん G・コアラ G）
７月	８月	９月
4 日　七夕行事 26 日　しんいけ盆踊り	22～24 日　親子療育キャンプ （ぞう・パンダ G） 29～31 日　親子療育キャンプ （きりん G・コアラ G）	
１０月	１１月	１２月
12 日　さわらび運動会 16 日　第２期始業式 24 日　秋の遠足 25 日　父親研修会	7～8 日　宿泊療育（ぞう・パンダ G） 14～15 日　宿泊療育（きりん・コアラ G） 25 日　健康診断	2 日　成人施設見学（ぞう・パンダ G） 4 日　成人施設見学（きりん・コアラ G） 6 日　年末懇親会 24 日　クリスマス会
１月	２月	３月
26 日　節分	11 日　さわらび祭	7 日　学習発表会 16 日　お別れ会 20 日　卒園式・母親送別会 25 日　第２期終業式

＊誕生会（毎月）、歯科検診（年 10 回）、母親研修会（年 10 回）

＜宿泊行事の参加状況＞

ア）さわらび親子療育キャンプ

8/22(金)～24（日）　参加対象：ぞう・ パンダ G

園児：7 名　きょうだい：5 名　母親：7 名　父親：6 名　ボランティア：18 名

8/29(金)～31（日）　参加対象：きりん G・コアラ G

園児：4 名　きょうだい：3 名　母親：4 名　父親：4 名　ボランティア：10 名

イ）宿泊療育＜さわらび園にて実施＞

11/ 7(金)～　8（土）　参加対象：ぞう・パンダ G　／参加園児：12 名

11/14(金)～ 15（土）　参加対象：きりん・コアラ G／参加園児：12 名

⑤保護者の学習

○母親の学習

・母親グループカウンセリング（２グループごとの実施／10:15～11:45）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	6	6	4	1	4	2	10	4	4	4	2	49
延人数	33	36	47	33	4	29	19	86	35	33	32	19	406

*ペアレントトレーニング、サポートブック作成講座、宿泊療育のビデオによるフィードバック含む。

・その他： 発達相談・個別相談実施

○父親の学習

・父親参観日：療育参観及びグループ懇談

6 月 21 日（土）／参加人数：11 名　＜ぞう・パンダ G＞

6 月 28 日（土）／参加人数： 7 名　＜きりん・コアラ G＞

・父親研修会：10 月 25 日（土）／参加人数：12 名

内容：卒園児父親による体験談（講師：鈴木友和氏・酒井重徳氏／聞き手：島崎徹也）

⑥その他

・卒園児のアフターケア(訪問)：特別支援学級７名/特別支援学校１名/幼稚園３名

２）保育所等訪問支援事業【利用状況**】**

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		3	4	5	6 (小 1)	7 (小 2)	8 (小 3)	9 (小 4)	10 (小 5)	11 (小 6)	計
市	男		3	7	2		2	1		1	16
	女								1		1
計			3	7	2		2	1	1	1	17

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	17	22	27	23	11	30	31	32	25	22	25	25	290
事業説明		2											2

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園	こども園	小学校
箇所数	5	2	1	5

（２）障害児相談支援事業【利用状況**】**

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		1	2	3	4	5	6 (小 1)	7 (小 2)	8 (小 3)	9] (小 4)	10 (小 5)	11 (小 6)	12 (中 1)	13 (中 2)	計
市	男	2	8	12	14	13	12	8	4	8	6	5	2		94
	女	1	4		3	2	2	5	2		1	2	1	1	24
計		3	12	12	17	15	14	13	6	8	7	7	3	1	118

○月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	41	6	9	7	2	7	7	5	9	7	3	4	107
モニタリング	8	16	6	2	2	13	7	9	6	7	3	4	83
訪問	17	24	21	25	22	26	13	18	19	25	26	24	260
来所・電話	67	40	41	43	30	64	27	27	35	32	41	45	492
事業所連携	37	41	36	45	37	40	23	15	30	27	32	53	416
計	170	127	113	122	93	150	77	74	99	98	105	130	1358

（３）療育グループ事業

１）りとるぐるぅぷ(就園前G)の状況　＊令和７年度利用者は18名。園児への移行は５名。

○年齢・男女別

学年齢		0才	1才	2才	小計	総計
市	男		6	9	15	18
	女		2	1	3	
計		0	8	10	18	

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	5	6	9	8	8	8	9	7	6	6	9	11

○通園区分（令和７年度利用者）

区域	人数	区域	人数
千種区	7	名東区	11

○主な障害（令和７年度利用者）

障害名					男	女	計
ASD（疑い含む）	6	1	7	MR	1		1
言語発達遅滞	1		1	運動発達遅滞	1		1
不明	6	2	8	計	15	3	18

○療育回数及び出席延人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	4	4	3	0	4	5	4	3	4	3	2	39
延人数	12	19	27	14	0	21	27	15	11	17	19	17	199

○母親グループカウンセリング

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数		1	1			1		2			1		6
延人数		4	5			7		8			6		30

２）親子教室「ジョイフル」(並行G)の状況　＊令和７年度利用者は28名。園児からの移行は７名。

○年齢・男女別

学年齢		３才	４才	５才	小計	総計
市	男	7	13	5	25	27
	女			2	2	
県	男					1
	女	1			1	
計		8	12	8	28	28

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	28	28	28	28	28	28	28	28	27	24	24	23

○通園区分（令和７年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	13	名東区	11	守山区	1	昭和区	1	天白区	1	市外	1

○主な障害（令和７年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD(疑い含む)	19	1	20
MR	3	1	3
境界域	2		2
不明	1	1	2
計	25	3	28

○療育回数及び出席延人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	2	2	2	2		2	2	2	1	2	2	1	20
延人数	36	41	35	25		34	30	18	17	22	15	12	285

○サポートブック作成講座　　11 月実施：参加者９名

３）学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中 1	中 2	中 3	小計	総計
市	男	8	6	2	7	7	6	4	2	3	45	60
	女	1	5	1		1	1	1	2	3	15	
県外	男					2					2	2
	女											
計		9	11	3	7	10	7	5	4	6	62	62

○令和７年度新規学童入所　　・名古屋市９名

○療育(放課後クラブ含む)およびグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	1	4	3	1		3	1	3	1	3	1	1	22
	人数	38	29	32	10		28	22	26	23	30	15	29	282
GC	回数	2	2	2			2	2	2	2	2	1	1	18
	人数	13	10	6			15	9	7	7	14	4	3	88
クラブ	回数	6	8	9	6	5	7	8	8	5	4	7	3	76
	人数	24	30	30	24	18	28	26	34	14	22	31	12	293

○学校種別　・特別支援学級 45 名・特別支援学校 12 名・通常学級５名

○その他　　・母親の会合宿（全５回／参加者：児童 17 名＜一部は親子合宿＞、職員派遣３名）

・小中学生合宿 9/13(土)～15(月・祝)　参加者：児童８名　職員４名

（４）職員研修及び職員派遣

１）職員研修

○施設外研修：児童発達支援施設現任職員研修会・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等
福祉協会・名障連・名古屋市関係：階層別研修・職種別研修・施設見学・早期子ども発達支援担当職員研修等／施設長研修：福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等

○施設内研修：虐待防止および身体拘束適正化研修、ＢＣＰ研修(感染症、自然災害)、防犯研修、テーマ別研修（児童発達支援ガイドラインについて、事例検討、事業所評価について）

２）職員派遣

○名東保健センター（乳幼児発達相談）：毎月第３水曜日午前／保育士(渡邊友子)派遣
○千種保健センター（親子教室）：毎月１回午前／心理判定員（大澤夕佳)派遣
○コアラの会（千種区親の会）：毎月第２木曜日午前／相談員(鍋谷貴子)派遣
○千種区障害者自立支援連絡協議会定例会及び子ども部会：毎月１回
○名東区障害者自立支援連絡協議会そだつ部会（児童部会）：毎月１回
○父親のグループ（令和７年度）クラブ・ヤジオ（会員：約 18 名／本人年齢：20～26 才）
かたつむり（会員：約 20 名／本人年齢：17～19 才）

（５）ヒヤリハットおよび事故報告

１）ヒヤリハット報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
所在不明							1						1
給食異物混入	1		1										2
物損										1			1
計	1		1				1			1			4

２）事故報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外傷（噛みつき、ひっかき）				1				1	1	2	2		7
転倒・衝突		1					1						2
物損										1			1
計		1		1			1	1	1	3	2		10

※最も件数として多かったのは、外傷であった。その都度、職員間での振り返りを行い、環境や対応の工夫に努めた。

３．成人各施設の事業状況

（１）利用者状況（令和８年３月３１日）

１）日中活動利用者

①年齢層・性別　＜（　）は内６５歳以上の利用者＞

	年齢層						性別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家	0	2	3	20	23	5(4)	34(2)	19(2)	53(4)
れいんぼうワークス	1	0	11	12	0	0	18	6	24
あらくさ	1	5	2	8	0	0	8	8	16
計	2	7	16	40	23	5(4)	60(2)	33(2)	93(4)

②障害支援区分　＜（　）は内６５歳以上の利用者＞

	障害支援区分						計
	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	未判定	
べにしだの家	0	1	5	12(2)	35 (2)	0	53(4)
れいんぼうワークス	0	0	4	11	9	0	24
あらくさ	0	0	6	5	5	0	16
計	0	1	15	28(2)	49 (2)	0	93(4)

２）入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別　＜（　）は内６５歳以上の利用者＞

	年齢層						性別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家（施設入所支援）	0	0	2	11	9	3(2)	15	10(2)	25(2)
べにしだ共同生活援助事業所	0	0	0	10	12	4(3)	20(3)	6	26(3)
れいんぼう共同生活援助事業所	1	1	13	14	0	0	20	9	29
あらくさ共同生活援助事業所	0	2	2	8	0	0	6	6	12
計	1	3	17	43	21	7(5)	61(3)	31(2)	92(5)

②障害支援区分　　＜（　）は内６５歳以上の利用者＞

	障害支援区分別						計
	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	未判定	
べにしだの家（施設入所支援）	0	0	1	6	18(2)	0	25(2)
べにしだ共同生活援助事業所	0	0	2	8(2)	16(1)	0	26(3)
れいんぼう共同生活援助事業所	0	2	7	11	9	0	29
あらくさ共同生活援助事業所	0	1	4	5	2	0	12
計	0	3	14	30(2)	45(3)	0	92(5)

（２）月別利用状況

１）日中活動（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	23	22	24	19	23	24	21	21	21	21	23	265
生活介護(定員60名)	50	49	50	50	49	49	51	50	49	51	51	50	50

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	23	23	24	20	23	23	22	22	21	21	24	269
生活介護(定員23名)	21	22	20	22	18	21	22	19	21	20	20	21	20

あらくさ	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	24	22	24	20	23	24	21	22	22	21	23	269
生活介護(定員20名)	13	15	15	15	15	15	15	15	13	15	14	15	14

2）入所・共同生活援助（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	24	25	25	25	24	25	26	26	25	25	24	24	25
共同生活援助(定員30名)	22	22	21	22	20	22	22	22	21	20	23	23	21

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	23	24	23	24	19	23	24	23	22	22	22	24	22

あらくさ	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員12名)	8	9	9	9	7	9	9	9	8	8	9	9	8

3）日中一時・短期入所（月毎延べ利用者数）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	6	8	8	8	14	2	2	2	0	2	2	2	56
短期入所(定員2名+空床)	62	28	30	24	30	34	29	39	14	24	40	44	398

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	1	1	2	0	0	0	2	0	1	1	1	2	11

（3）相談支援事業

【べにしだの家】　（延べ件数）

月 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
基本相談	79	101	108	121	103	135	110	103	117	105	91	113	1286
ｻｰﾋﾞｽ等利用計画作成	15	6	11	10	7	8	9	5	9	10	10	12	112
モニタリング	18	31	34	38	39	33	18	32	35	32	33	32	375
自立支援協議会参加	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	113	139	154	170	150	177	138	141	162	148	135	158	1785

（4）作業実績

1）作業室別・業者別売上

＊（　）内は前年度増減比　／（単位：円）

【べにしだの家】内部取引含む

第1作業室／クリーニング・自動車部品検査		第2作業室／自動車部品検査		第3作業室／自動車部品組付		ゆう作業室
業　者	売　上	業　者	売　上	業　者	売　上	
クリーニング	619,530	そうぎょう	416,198	ヤマサ製作所	0	心身機能の維持増進
ケイアイ加工	0	そうぎょう	327,445			
619,530(−177,470)		743,643（−124,446）		0（±0）		
あらわい作業室／箱折り・自動車部品検査		アート作品・自主製品販売		その他		合　計
業　者	売　上	業　者	売　上	業　者	売　上	
岩田紙器	75,336	アート作品	120,519	ゴミ袋販売	630	1,582,287 (−600,801)
ハセガワ製作所	3,354	自主製品	7,275			
T&M	12,000					
90,690（+4,549）		127,794（−302,874）		630（−560）		

【れいんぼうワークス】内部取引含む

部品等の組付･検品作業･刺繍製品等自主製品		農作物生産.販売		合　　計
業　　者	売　　上	業　者	売　上	
そうぎょう	891,912	団体	243,015	2,686,176 (+681,507)
服部	218,804	一般	510,637	
その他受注作業	0	法人内事業所	202,582	
加賀悦商店・宮崎	34,650	仕入れ販売	209,580	
その他リサイクル	4,696	その他	16,060	
刺繍製品	91,550			
ダンボール製品	0			
Ｔシャツ他	46,200			
その他製品	216,490			
	1,504,302(+392,203)		1,181,874(+289,304)	

【あらくさ】内部取引含む

部品等の組付･検品作業･ビル清掃・作業代行		喫茶.自主製品販売		合　　計
業　　者	売　　上	業　者	売　上	
ﾌﾗﾜｰｼｮｯﾌﾟ花時	60,000	製パン販売	3,064,851	4,098,830 (+30,852)
アクティブ	200,765	喫茶店内飲食	368,378	
箸大	54,600	仕入販売	141,513	
成弘社印刷	8,275	さおり・雑貨販売	84,135	
あさみどりの会	80,050			
その他受注作業	36,263			
	439,953(-35,458)		3,658,877(+66,310)	

２）工　賃　　※年額および１人あたり支給月額には、年２回の賞与が含まれている。

	べにしだの家	れいんぼうワークス	あらくさ
令和７年度工賃支給総額	660,646	1,117,680	1,587,100
1人あたり支給月額（　　）内前年比	1,045　(＋15)	3,990(＋62)	8,266　(＋1,972)
最高支給月額	6325	5,480	9,000
〃　　年額	69,575	60,790	125,900
最低支給月額　〃	216	1,690	1,100
〃　　年額	2,964	21,550	32,000

（５）各施設活動状況

べにしだの家

１）主な年間行事・活動

月	内　　容
４月	23 日：利用者健康診①
５月	20 日：避難訓練（本体）　26 日：蒼の会懇親会　31 日：LiVE YOU①
６月	21 日：自立をすすめる会①　24 日：新人世話人研修　27 日：発達障害対応研修①
８月	9～13 日：夏季休暇　23 日：有期職員研修①　30 日：有期職員研修②
９月	6 日：合同きょうだい会　15 日：蒼の会敬老会　20 日：30 周年記念パーティー
10 月	10 日：家族会とき江碑参拝ツアー　18 日：べにフェス　22 日：利用者健康診断② 25 日：発達障害対応研修②　31 日：救急救命研修①
11 月	1 日：救急救命研修②　12 日：インフルエンザ予防接種　21 日：避難訓練（本体）29 日：LiVE YOU②
12 月	26 日：納会・御用納め　27～31 日：年末休暇
１月	1～4 日：年始休暇　5 日：仕事始め　17 日：自立をすすめる会②　23 日：発達障害対応研修③
２月	16 日：蒼の会総会　18 日：避難訓練（いなばじホーム）　21 日：母親懇親会　27 日：避難訓練（本体） ※地域連携推進会議　23 日（ながおさホーム）　24 日（いなばじホーム）
３月	20 日：意思決定支援研修　27 日：避難訓練（あらわいの家） ※地域連携推進会議　10 日（あらわいの家）　16 日（こがも・ゆうゆう、本体）

2）健康管理

＊血圧・体重測定（看護師）/随時
＊健康相談（ナラティブクリニックみどり診療所：富田崇由 Dr.）/毎月１回
＊産業医訪問（さんぽテラス：富田崇由 Dr.）/隔月１回
＊インフルエンザ予防接種（大菅病院）
＊健康診断（名古屋公衆医学研究所）/入所年２回・通所年１回
＊訪問歯科診療・摂食嚥下支援（えびす歯科）/毎週木曜日
＊PT 訪問・ST 訪問（リハプロ訪問看護ステーション等）/随時

3）家族との連携

a. 家族会　　※毎月開催。
b. 家族参観　　※作業室単位で１家族１回開催。
c. 自立をすすめる会　※２回開催
d. 母親懇親会　　※２月に開催
e. きょうだい会　　※あさみどりグループ全体で１回（ハイブリッド）
f. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換　※身上監護、定例会議、学習会の参加。

4）職員の活動

a. 各種会議
①毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
②生活棟会議（南・北棟別に毎月１回開催）
③作業室会議（毎月１回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
④ホーム担当者会議（各ホームの情報交換、課題整理）
⑤コーディネーター会議（毎月１回、ホーム全体の情報交換）
⑥運営会議（毎月１回、所長、副所長、主任にて事業所の運営や支援体制等の検討））
⑦リーダー会議（毎月１回、各部署のリーダーにて総体的な情報共有、課題検討、調整）
⑧虐待防止・身体拘束適正化委員会（年２回ヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と虐待防止及び身体拘束適正化の意識の共有）
⑨衛生委員会（隔月１回、メンタルヘルスに係る情報共有、対策の検討）
⑩感染症対策委員会（年４回、感染症の流行等動向の情報共有、職員への啓発、研修訓練の企画と実施）
⑪職員全体会議（毎月１回、決定事項の確認、伝達、情報交換、研修報告、内部研修の開催等）
⑫給食会議（毎月１回、委託業者との情報交換、課題検討、調整）
b. 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加
c. 施設内研修（５月：新人世話人研修　８月：有期契約職員研修　10・11 月：救命救急研修
３月：意思決定支援研修）
d. 施設外研修

6）地域との交流・学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	0	0	12

b. 実習・見学　（延べ人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大学・専門学校社会人等実習	3	1	45	23	40	64	74	10	19	0	10	20	309
見学者	4	5	2	0	15	10	32	12	1	2	0	4	87
												合計	399

※体験実習校・施設…同朋大学、日本福祉大学、名古屋柳城女子大学、岡崎女子大、愛知淑徳大学
東海医療科学専門学校等
※見学は企業、他事業所、学生実習の事前訪問等

c．地域交流等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者	0	0	15	0	20	0	0	0	0	0	15	0	50
利用者家族	0	0	10	0	5	0	0	0	0	0	10	0	25
地　　域	0	0	15	0	30	0	0	0	0	0	15	0	60
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出演者スタッフ	0	0	50	0	50	0	0	0	0	0	50	0	150
参加者計	0	0	90	0	105	0	0	0	0	0	90	0	285

①LiVE YOU　（５月３１日・１１月２９日）

②アート作品の展示（随時）

４月　・発達障害啓発プロジェクト造形大学展示(名古屋造形大学)（デラファーム）
　　・小さなキャンバスの中のアールブリュット展(マルエイガレリア無印良品)
５月　・小さなキャンバスの中のアールブリュット展(釜めし屋くう)
６月　・アートなＴシャツ展(tane)
１０月　・風に吹かれて交流広場(久屋大通パーク)
１１月　・LiVE YOU　LiKE YOU 展
１月　・sevens sense 展（喫茶七番）
２月　・sevens sense 展(はっぴーカフェ)

７）事故・虐待・不適切対応

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	2	0	2	1	1	0	3	2	2	13
転倒・転落・衝突	0	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	1	8
自傷	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
他害・物損	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	4
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
異食・誤嚥	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	5
浴室内の危険	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
その他不適切対応	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	5
計	4	4	1	5	4	3	3	1	0	7	3	5	43

※ヒヤリハットとしての報告はなく、すべて事故と判断するものばかりであった。報告件数は昨年度（４２）とほぼ同数。服薬関連に次いで転倒に係る事案が増加。
※身体拘束に関し、支援上やむを得ず行っているものについては「身体拘束等の適正化のための指針」に基づき実施している。
※１０月に生活棟にて支援員による男性利用者への暴言等の事案の報告を受け、関係者への聴取の結果虐待案件と判断し、支給決定区に報告をした。

れいんぼうワークス

１）主な年間行事・活動

月	内　　容
５月	17 日：田植えイベント 31 日：さつまいも苗植えイベント
６月	4.5.6 日：有期職員研修①②③　21 日：みんなのれいんぼう祭、れいんぼう虹連絡協議会 24.25 日：山の家合宿①　28 日：発達障害対応研修①
７月	2.3、8.9 日：山の家合宿①②③　15 日：家族会・学習会
８月	9～13 日：夏季休暇
10 月	9.10 日、14.15 日、30.31 日一泊旅行①②③　18 日：家族会・学習会 18 日：稲刈りイベント　25 日：発達障害対応研修②
11 月	1 日：さつまいも収穫イベント、きょうだい会　12 日：家族会・学習会 26 日：救命救急研修①　27 日：地域連携推進会議
12 月	2.11 日：救命救急研修②③　12 日：クリスマス会　27 日：御用納め
１月	5 日：仕事始め　17 日：れいんぼう・虹連絡協議会　24 日：発達障害対応研修③ 29.30.31 日：ホーム見学会

２）健康管理

＊健康チェック（看護師／毎日：体温　体重測定記録の確認及び健康相談）
＊健康診断（年１回）＊訪問歯科（週１回）＊予防接種（加賀医院／インフルエンザ希望者接種）

３）家族との連携

a. 家族会および研修：家族会は毎月１日の開催。学習会を年２回実施。講師：宮崎秀政氏〔司法書士、みやざき司法書士事務所（あま市）〕、合屋由美子氏（べにしだの家相談員）
ホーム個別懇談を１１月～翌年３月で実施した。
b. 個別相談：随時
c. 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、みんなのれいんぼう祭へ家族の協力を得られた。
d. れいんぼう・虹連絡協議会：主に父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。（会食あり）

４）職員の活動および研修

a. 施設内においては、①毎日作業終了後の打合会、②ケース会議・ホーム会議（月１回）、③運営方針の確認・行事計画・事業執行などを協議する職員会議（月１回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。
b. 法人主催で行われる職員全体研修、階層別研修、ケースカンファレンスに参加した。
C. 施設内研修として、全スタッフ向けに虐待防止および身体拘束適正化研修、BCP（感染症対策、災害時対策）研修、感染症対策研修、救命救急講習を実施した。ほかに正規職員と希望される有期職員、地域の他事業職員を対象に発達障害対応研修（講師：小林信篤先生）を年３回実施した。
d. 知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
東海地区施設長等研究協議会（１名）、愛知県知的障害関係施設職員等研究大会（１名）
福祉職員向け農福連携研修（１名）、強度行動障害支援者養成研修（１名）、サビ管実践研修（２名）
自然栽培パーティ全国フォーラム in 豊田（２名）

５）地域との交流・学生等の実習受け入れ等

地域との交流については、近隣の小学校と初めて授業の一環として農業体験、出張授業を行った。４年目となるさつまいもプロジェクトを実施し、苗植えと芋掘り体験を小学生、高校生と利用者が一緒に取り組むイベントを行った。３年目となる米作りプロジェクトとは地域の中学生とさわらび園卒園児親子とが利用者と共に田植え、稲刈り体験を行った。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	104	363	40	108	2	5	10	320	10	0	0	1	963

b. 実習・見学等　　※実習校・・・愛知教育大学その他（延べ人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	61	3	55	0	0	0	0	119
見学者	2	1	2	1	0	0	3	0	0	0	1	0	9

c. イベントの開催
米づくりプロジェクト（5月苗植え・１０月収穫）／サツマイモプロジェクト（5月苗植え・１１月収穫）
枝豆農業体験（4月・7月）／援農イベント（8月・12月）／みんなのれいんぼう祭（６月）

６）ヒヤリハット・事故報告

①ヒヤリハット報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	7
転倒・転落・衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他害・物損	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	0	1	8

※服薬ミス未遂については、その都度原因究明と対応策の実施と共有を速やかに行った。

②事故報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	5
転倒・転落・衝突	1	3	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	8
他害・物損	1	2	0	0	0	1	0	1	1	2	4	4	16
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
計	2	5	3	1	1	2	3	1	1	3	4	5	31

※ 他害、転倒については職員のフォロー体制を見直したり、利用者の方の生活の流れを変更するなど改善に向けた支援の見直しを行った。

あらくさ

１）主な年間行事・活動

月	内　　容
５月	29 日～30 日：山の家旅行①
６月	9 日～10 日：山の家旅行②　14 日：あらくさスタッフ研修①（BCP,虐待防止等） 23 日～24 日：山の家旅行③　28 日：発達障害対応研修①
８月	9 日：あらくさ夏まつり　10～14 日：夏季休暇
９月	6 日：合同きょうだい会
10 月	24 日：日帰り旅行（2 名）　24 日：発達障害対応研修② 25 日：あらくさスタッフ研修②（救命救急）
11 月	6 日～7 日：一泊旅行①富士サファリパーク（7 名） 20 日～21 日：一泊旅行②富士サファリパーク(7 名)
12 月	20 日：クリスマス会　27 日：御用納め
１月	5 日：仕事始め　17 日：子どもパン教室①(6 名)　24 日：発達障害対応研修③ 29 日：いちご狩り①　30 日：ハッピーカフェ（アート展示）訪問①
２月	2 日：成人のお祝い会　3 日：喫茶七番（アート展示）訪問②　5 日：いちご狩り② 13 日：喫茶七番（アート展示）訪問③　21 日：子どもパン教室②（6 名）

２）健康管理

＊健康チェック（看護師／体温・体重測定記録の確認及び健康相談）　＊健康診断（年１回）
＊予防接種（土方クリニック宮田医院／インフルエンザ希望者接種）

３）家族との連携

a. 家族会および研修：家族会は毎月 1 回の開催。
b. 個別相談：随時
c. 自主活動：さをり織りの布を利用した小物づくり‥パン店にて販売
d. あらくさ自立をすすめる会‥9/30（火）に成年後見制度勉強会（講師：尾関淳氏）とそのあと懇親会開催。父親９名参加。

４）職員の活動および研修

a. 施設内においては、①各種行事検討、利用者支援など時期に応じた内容を協議する職員ケア会議（月１回）②職員+常勤有期契約職員を加えたスタッフ会議（月１回）④随時個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。
b. 法人主催で行われる職員全体研修、階層別研修、ケースカンファレンスに参加した。
c. 施設内研修として、全スタッフ向けに虐待防止および身体拘束適正化研修、BCP（感染症対策、災害時対策）研修、感染症対策研修（年２回）、救命救急講習（感染症対策研修を兼ねる）を実施した。ほかに正規職員対象に発達障害対応研修（講師：小林信篤先生）を年３回実施し、そのうち１回は有期職員研修も含む全スタッフ対象に行った。
d. 知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
東海地区職員等研究協議会(１名)、愛知県福祉協会職員研修(２名)ほか

5）地域との交流・学生等の実習受け入れ等

地域に向けては、自治会主催の防災訓練に参加したり、１月２月に地域の子ども向けのパン教室を昨年に引き続き行った。学生向けには社会福祉士および保育実習や教員免許取得のための介護等体験実習を受け入れた。また今年度は「キャリシー」（学生向けアプリ）を通じて、インターンの学生を１５名受け入れることができ、うち１名の方がホームでの泊まりバイトの採用につなぐことができた。１月～２月には利用者さんのアート作品を外部の喫茶店に展示する機会を得、グループに分けて訪問することができた。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	3	4	3	8	3	3	4	4	4	5	5	52

b. 実習・見学等　　※実習校・・・みずほ短大　同朋大　名古屋学芸大学　（延べ人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	9	7	0	0	0	0	0	0	5	21
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	39	16	0	0	20	10	0	85
見学者	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3

c. イベントの開催（あらくさ夏まつり・あらくさアート展・子どもパン教室等）

6）ヒヤリハット・事故報告

①ヒヤリハット報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
転倒・転落・衝突	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他害・物損	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
計	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4

※他害・物損に関して、ホームでトイレットペーパーを大量に使い詰まらせることがあったが、水漏れには至らなかったケースがあげられる。

②事故報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	7
転倒・転落・衝突	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他害・物損	2	3	1	1	2	0	0	1	1	1	1	1	14
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	4	2	4	3	1	1	1	3	1	2	1	25

※他害・物損、服薬事例に関しては、その都度振り返りを行い、環境整備を行うことも含め、再発防止に努めた。ホームでのトイレットペーパーの大量使いによるトイレの詰まり事例では下の階やエレベーター内にも浸水があったため、トイレのタンク修理を行うとともに排水管清掃も行った。対策としては見回り、声かけを強化することで防止に努めている。